

広島県  
工業会  
広島  
鉄構工業

# 山本理事長が6期目へ

## 第51回通常総会開く



あいさつする山本理事長

広島県鉄構工業会（山本泰徳理事長）は24日、広島市南区のホテルグランドインディア広島で第51回通常総会を開催した。2024年度の事業計画案・

収支予算案、任期満了に伴う役員改選などすべての議案を全会一致で承認し、山本理事長（ステントス）が歴代最長となる6期目に入ることが決まった。

総会には委任状を含む71社が出席。開会のあいさつで、山本理事長は「われわれの業界がいよいよとビルを建てることはできない。皆さんは日本のインフラを支える高い技術と知識を持っていることを認識してほしい」と強調し、「現在の組合員数は80社で、これを3桁にすることが目標。組合員数を増やし、業界の地位を向上させ、収益を上げる。その収益を社員

に還元することで、人が集まりやすい環境にしていく。すぐにできるものではないが、皆さんとともに長い年月をかけて実現させたい」と協力を呼びかけた。

続いて、来賓出席した広島県の湯崎英彦知事が祝辞を述べ、「持続可能な建設業に向け、担い手確保や生産性向上などの課題に取り組むとともに、公共事業は品確法を踏まえて適切に実施していく。皆さんも高度な知見と経験を生かし、建築物の安全・安心の確保、鉄鋼技術のさらなる発展のために尽力してほしい」と激励した。

▽人材の確保・育成▽鉄骨の技術開発を含めた最新技術取得と普及▽青年部のさらなる活性化▽フアプの社会的認知・地位の確立▽支部会活動の1層の充実の5項目を重点活動に設定した。最優先事項に掲げる「人材の確保・育成」では、若者や女性が活躍できることをホームページなどで発信するとともに、組合親会の理事に若手人材を登用する。青年部の活動も最大限支援し、次世代の育成を推進していく。

また、大学や建築構造関係者と取り組む技術開発の研究に参画するほか、各種講習会を積極的に開催する。行政・他団体との交流、積算見積の有料化など社会的認知の確立を目指した事業にも注力する方針だ。

本年度の事業計画は、

議事では、23年度事業報告・決算報告、24年度事業計画案・収支予算案、定款一部変更、役員改選など7議案を原案通り可決。